

くまがわ

Vol.15

発行 2010年8月10日
八代更生病院 広報委員会



Contents

- 精神症状を伴う認知症
- 病院機能評価 V6.0 訪問審査を終えて
- 取り組んでいます！
- 病院行事 バス旅行 くませいフェスタ

理念

地域社会に信頼される精神科医療をめざし、患者様に安全で安心される質の高いあたたかさや癒しの医療を提供します。

基本方針

1. 満足していただける医療を行います。
2. 快適な院内環境に努めます。
3. 専門知識の向上に努めます。

精神症状を伴う認知症

認知症の患者さんに物忘れだけでなく、種々の精神症状が出現してくることがあります。一番多い妄想は物盗られ妄想です。財布の置き場所を忘れ、パニックになり泥棒が入った、盗まれたと現状吟味をしないで短絡的に盗られたと考え、警察に連絡してしまいます。家族が団らんしている時に、警察から「泥棒が入ったと連絡がありました」とパトカーが駆けつけ大騒ぎになることもあります。物忘れが物盗られ妄想の基礎にあるようです。近時記憶が低下すると昔の記憶が湧きだしてきます。5、6年前の法事に出席すると急に言い出してタクシーで出かけて、行き先が判らずタクシー会社から連絡があったりすることもあります。習慣性の記憶もよく湧きだします。女性は夕方になると食事の支度をしなくてははいけません。入院、入所していらっしゃる方が夕方になると「家に帰らないといけない」と落ち着かなくなる時には「食事は今日はここで食べて行って下さい」とお伝えすると落ち着かれることもあります。

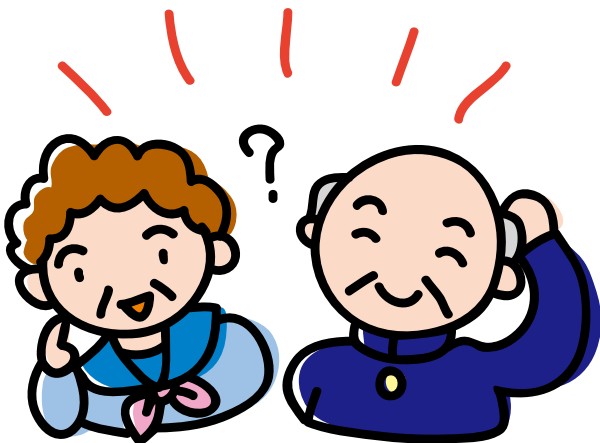
幻視がある認知症はレビー小体認知症と呼ばれています。物忘れ症状の進行は緩徐ですが、不穏症状が長時間続き、抗精神病薬が効き難く介護の手間がかかる認知症です。



窓の下を子どもが行列をつくって歩いているなどの幻視、部屋の中を滝が流れるなどの幻視があり、不穏でいらら感強いのが特徴です。夜間、窓ガラスに映った自分の姿を見て泥棒が入ったと、杖で窓ガラスを叩き割ってしまうエピソードも割と多いようです。塩酸ドネペジルが有効であるという報告があります。

レビー小体認知症はアルツハイマー病の10数倍も転倒し易いと言われています。転倒すると骨折を起こし、寝込んでしまうこととなります。幻視がありそれを避けようとして転倒したり、障害物との距離感の認識が悪くなっているため足のおろす位置を外したりして転倒が多いようです。パーキンソン症状群が出易いことも転倒の原因となります。

この他にも認知症に伴う精神症状は種々あり、介護により工夫が必要となります。精神症状があると介護の手間がかかり、介護する人の心理的負担も大きくなり、介護される側も不安を持ち認知症問題をより深刻にします。精神症状の仕組みがある程度理解できれば、その負担がある程度軽くなることもあります。



病院機能評価訪問審査を終えて

平成17年6月の日本医療機能評価機構の認定を経て5年があったという間にたちました。5年前のはじめての認定を終えて、機能評価実行委員会はピアレビュー委員会に名称変更しました。単に病院機能評価受審のための委員会というより、医療の質・看護の質の向上を図っていくために自らレビューを継続しようということを目指したものでした。ほどなくして、機能評価はV4.0からV5.0にアップし、それにあわせて各領域ごとに評価を開始しました。V5.0の自己評価表は細かすぎて、ここまでのものが本当に必要であるのかと迷いながらも、本院の問題点、反省点も多く見付きその都度改善を検討し続けました。

初回の受審査準備においての反省点として、作成したマニュアルの管理方法が徹底していないために、ファイルの保存場所がバラバラであったり書式が統一されていませんでした。改善点としてはまずは書式を統一し管理の方法を明確にすることにし、初回の機能評価のために導入した院内LAN、サーバーの共通フォルダを上手に活用することにしました。

また領域毎に小項目の担当を決め、全職員がこの病院機能評価に関わる体制をとりました。領域毎に担当を張り出してあるので進捗状況の把握がわかりやすかったことは、長期に細かい作業を進めていく上で、重要ポイントだったと思います。各担当者は、評価の元になる資料やマニュアルの確認と整理をしながら、目標の達成を意識し続けることができました。環境面の安全性・快適性についても年度ごとに取り組みがなされました。また図書の整備、患者様の安全安心のための機械器具の設置など物的にも少しずつ充実がすすみ、接遇教育など医療・看護の質の向上のための地道な取り組みも行いました。

平成20年、安川先生の病院機能評価受審実行委員長就任を機に、ピアレビュー委員会の名称から機能評価実行委員会に戻り本格的に二回目の受審査準備に取りかかりました。V5.0での受審査準備をすすめているなかで、医療機能評価機構はさらに次なるV6.0の評価項目を発表しました。現実の対応には十分な時間が必要となるために、カルテの電子化を優先するのか、病院機能評価受審を優先するのか、その時期のデッドラインはいつまで可能なのかといろいろな場面で討議がなされました。結論としてでたのが同時進行案でしたが、職員は大きく変わるカルテの電子化のためのシステムの構築、操作トレーニングと病院機能評価受審査準備を同時にすすめることになり多忙を極めることになりました。

最終的には電子カルテを平成22年2月に稼働開始予定とし、機能評価は最新のV6.0で受審査する方向として訪問審査を22年5月に受けることに決まりました。

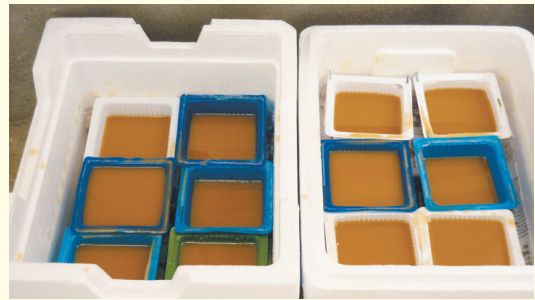
時間の流れはさらに加速しました。22年5月26日から3日間の訪問審査を無事終わりました。直前には病院内の各部門のチームワークの底力がさらに持ち上がり、満足がいく内容に仕上がったかと思います。7月後半の結果を静かに待っているところです。



取り組んでいます！

廃油で石けんを作っています！

デイケアではエコ活動の一環として年に2回、廃油石けんを作っています。材料である廃油は栄養科から使わなくなったテンプラ油を分けてもらっています。酸化した油は茶色く濁って独特の臭いがします。材料を混ぜ合わせ、メンバー同士交代しながらかき混ぜること20分以上。トロリとしてきたら型(豆腐の容器)に入れ2週間ほど冷暗所で寝かせます。全体的に白っぽく固まったらできあがりです。見た目は素朴ですが、驚くほど汚れが落ちます。靴下や運動靴の頑固な汚れはもちろん、食器洗いにも使えます。今は熟成の最中ですが、秋のふれあい祭りに出品予定です。



脳元気クラブ発足！

平成21年12月より、脳元気クラブを始めました。



体だけでなく、脳も元気でいようという目的をもって取り組んでいます。

内容は、簡単な音読・計算・ゲームなどで、15～30分くらいです。

短時間ですが、皆さん、なかなか読むのが早くて時間が余ったりすることもあります。

学習だけでなく、若返りロードを歩いたり、軽い運動を取り入れています。



今では、患者様のほうから「今日は何時から？」とせかされるくらい積極的です。



エネルギーに関する栄養基準

表示内容	含有基準等
ノンカロリー	100gあたり5kcal未満の食品に表示できる
カロリーオフ	100gあたり40kcal以下の食品に表示できる
低カロリー	
糖分控えめ	砂糖やブドウ糖が100gあたり5g以下の食品に表示できる
甘さ控えめ	明確な基準はない

地域・家族へ向けた情報発信の取り組みについて

当院の作業療法科は地域との連携強化に向けて積極的に地域に貢献したいと考えており現在以下の取り組みをおこなっています。

1、SSTぶどうの木のリター作成・掲示

- ・当院で行っている思春期SST【ぶどうの木】で行っている取り組みを毎回リターとしてまとめ外来掲示板に掲示しています。

2、アクティビティの体験

- ・当院で実施しております革細工やプラ板などの作業をふれあい祭りにて体験して頂いています。

3、学生の受け入れ

- ・熊本保健科学大学・小倉リハビリテーション学院・九州中央リハビリテーション学院と三校の作業療法士養成校の受け入れを行っています。また、体験学習として中学生・高校生の受け入れも行っています。

4、各機関との話し合いへの参加

今後は学習会の場などとして各部屋の貸出し等も検討したいと思っております。

作業療法科 前田 マリ子

熊本動植物園へのバス旅行



毎年楽しみにしているバス旅行、今年は熊本動植物園でした。

降水確率80~90%という天気予想も、みんなの願いが通じ30分早い出発もあり総勢108名バス3台で無事行くことが出来ました。美味しいお弁当を食べてからの観覧スタートで、ゆっくりとそれぞれのペースでま

わることができました。途中傘が必要なことが2回程ありましたが、雨宿りする箇所もあり、それはそれで楽しめました。車椅子での参加患者様も「あ~来てよかったー、押してくれてありがとう」と満足そうでした。デイケアの方は植物園の方も観覧されていました。「そうは、やっぱり大きいねー」「ライオンの雄たけびは体に響く」等など楽しい会話で今年のバス旅行も大成功におわるることができました。また来年が楽しみです。



第40回熊本県精神障がい者家族大会

熊本県精神障がい者家族大会が「安心して暮らせる医療・福祉サービスの早急な実現を！」をテーマに6月4日、熊本県立劇場にて開催されました。

当日は施設やデイケアの利用者によるアトラクションに始まり、児玉病院の院長先生による講演など興味深いものばかりでした。他障がい（身体・知的）との格差を埋める新法の早期制定と偏見の是正を目指す大会宣言で閉会しました。1日も早く実現して欲しいものです。



平成22年 夏の行事

くませいフェスタ

6月といえばお馴染みくませいフェスタです。今年で第8回です。当院も30名ほどでバスを貸切して参加してまいりました。天気は晴天でパークドーム内は涼しく、今年は1500名程の参加者でにぎわっていました。各地区、5団体の組に分かれ、今年は黄色組でした。各競技、スタッフも患者様も夢中で参加して、その競技終了後には「玉なげは最初の準備がなぁ」「あそこが難しかったなぁ」などの声が飛び交い、大賑わいでした。中でも職員リレーの盛り上がり方には驚きました。思わず立って応援したりと、会場全体が熱気に包まれ、あの会場全体の一体感はずばらしく興奮します。参加された事のない方はぜひ一度応援で参加されて欲しいと思うほどでした。



また、競技だけでなく、知り合いの職員や患者様などが挨拶にこられたりと、懐かしい話でもあちらこちらと盛り上がっていました。

競技に参加するもよし、応援に徹するもよし。とても楽しめた一日でした。

ピクニック

毎年恒例の花見が麦島公園で行われました。花曇で春の風が吹く中を、小道の可愛い小さな草花や川の流れを眺めながら歩きました。午前中は全体でのマルバツゲームで盛り上がり、当院の事から政治に関する事まで幅広い知識が試され、参加者は楽しみながらも真剣に取り組んでいました。昼食は満開の桜の下、給食手作りのお弁当に舌鼓をうちながら会話にも花を咲かせていました。食後は広場にて、キックベース・ソフトバレー・ゲートボールなど運動をされる方、桜を鑑賞される方とそれぞれの時間を楽しんでいました。帰る頃には日焼けされた方もいましたが、笑い声と、笑顔が絶えない一日でした。また来年もきれいな桜の下で皆様とお会いできるのを楽しみにしています。



お世話になりました

九州中央リハビリテーション学院
作業療法学科 4年 塚田 明日香



今回8週間の作業療法実習でお世話になっています。

実習では、担当の症例様との関わりや担当させて頂いているレクリエーション活動で、出来ないことだらけですが実際の現場に来て初めて分かったこと経験できないことの連続で貴重な勉強となっています。

あっという間に期間が過ぎてしまいました。職員の皆様や患者様に支えられながら実習を行ってきたのだと実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

外来診療案内

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	宮本	安川	阿部	田中	宮本	
	再来1	安川	宮本	宮本	阿部	田中	宮本
	再来2		阿部	田中	片岡	阿部	
	再来					安川	
午後	予約外来						休診

- 診療科目 精神科・心療内科・内科
- 受付時間 新来 午前 8:30~11:30 (月~金)
再来 午前 8:30~12:00 (月~土)
午後 13:30~16:00 (月~金)
新来は予約制で月~金曜日の午前中のみとなります。

患者様の権利

- 1.個人として、その人権を尊重される権利
- 2.自分の受けている治療について知る権利
- 3.良質の医療を受け、選べる権利
- 4.公平で差別されない医療、及び、対応を受ける権利
- 5.安心、安全な環境で治療を受ける権利


交通のご案内



JR八代駅から……車で15分
バスでお越しの際は八代駅方面から
産交バス植柳経由南平和町行き
又は植柳経由君ヶ洲・破木・坂本駅行きにお乗り下さい
産交バス千反町バス停より徒歩3分



医療法人 山田会

 八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705
TEL (0965)33-4205
FAX (0965)35-8275
URL <http://www.y-kousei.jp/>
mail info@y-kousei.jp